

親子聖書日課

NO.1673 2020.10/18-24

名前

[日]主の「御力の及ばない事は何一つありません」とは、私達の人生にも言えることです。主は私達の「歩みの全てをご覧になる」だけでなく、「行いの実りに応じて報いられます」ですから、主の声に聴き従い、忠実な信仰生活を送りましょう。

[月]要求が多いと私達は疲れ、「もう呼ばないで」という気持ちになります。しかし、神は忍耐強い方で、私達に呼ばれることを喜ばれます。祈りとは「神を呼ぶ」ことです。どんな時でも、まず神を呼ぶ一たゆまずに祈るなら、必ず答えて下さいます。

[火]ゼデキヤ王は敗色濃厚となるや重荷となる奴隷を開放し、反対にバビロン軍が退き、奴隷が役立つと思えば、「態度を変えて」働かせました。何というご都合主義でしょうか。私達は主の奴隷ですから、「態度を変えず」誠実に生きましょう。

[水]レカブ人は先祖が命じた言葉を忠実に守り続けたのに対し、ユダの民は多くの預言者が「繰り返し語った」主の言葉を全く無視しました。御言葉を無視し、自分勝手な生活をしては、神の恵みと祝福に与れません。御言葉に聴従しましょう。

[木]ヨヤキム王は、預言者の巻物を全部切り裂いて燃やしました。灰にすれば、自分の罪が消えると思ったのでしょうか。しかし、神の言葉は灰になりません。切り裂くべきは、自分の罪という衣服です。神の言葉は両刃の剣、罪は切り裂かれます。

[金]エレミヤは獄中にあっても、主の言葉を語ることを恐れません。不安からひそかに尋ねてくるゼデキヤ王に、バビロンに捕えられると告げました。その苦言が功を奏しました。恐れずに福音を語りましょう。そして今という時に、主を信じましょう。

[土]主の僕はその務めが終わるまで、主に守られます。エレミヤも水溜めに投げ込まれたのに、助け出されました。恐ろしい目に遭いたくないと言って、沈黙しませんでした。益々大胆に主の言葉を語ったのです。どんな時でも、主を語りましょう。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 32:16-44	あなたの御力に及ばないことはありますか。	
月	33:1-26	主を呼ぶなら、主はあなたにどうして下さいますか。	
火	34:1-22	お前たちはまたもや何を変えて主の名を汚しましたか。	
水	35:1-19	お前たちは私がどのように語り続けたのに、聞き従いませんか。	
木	36:1-32	ヨヤキム王は巻物をすべてどうしてしまいましたか。	
金	37:1-21	誰の手にゼデキヤ王は渡されると、エレミヤは預言しましたか。	
土	38:1-13	エレミヤはどこへ綱でつり降ろされましたが、また引き上げられましたか。	
感想と祈りの課題			